50th Annibersary
東京城東ロータリークラブ週報
国際ロータリー第2580地区

2015. 9. 28　第2317回例会

すべてを感謝し、新たな50年へ

東京城東ロータリークラブ会長　会田　博

例会日　毎週月曜日　12:30 ～ 13:30
例会場　〒130-0013　墨田区錦糸1-2-2　TEL 5611-5511
東武ホテルレバント東京
事務局　〒130-0013　墨田区錦糸1-1-5
TEL 5637-4605　FAX 5637-4611
事務局　天尾　文（伊藤）
E-mail　jyoto@club.email.ne.jp

会　長	会田　博	副会長	細谷貞治
幹　事	篠田秀樹	副幹事	兒玉正行
		会報委員長	須田雅之

ＲＩ会長
K.R. ラビンドラン
第2580地区ガバナー
鈴木　喬
第2580地区幹事
坂田修一
ガバナー補佐：羽鳥貞雄
(東分区担当)
東分区幹事　：中川　剛
東分区副幹事：加藤和正

世界へのプレゼントになろう

本日の卓話

「 施設の現況と希望 」

墨田区重症心身障害児童通所支援事業所
「キッズサポート りま」
施設長 佐々木　義勝 氏

2015/9/14(月)
「 国内の子どもの貧困問題と
学校外教育バウチャーによる支援 」
チャンスフォーチルドレン
代表理事 今井 悠介 氏

ニコニコボックス

○今井様、本日の卓話よろしくお願い致します。
会田　博君・篠田秀樹君・細谷貞治君
兒玉正行君・上條隆志君・重田敦史君
奈良康司君・渡辺孝至君・池永憲明君
山﨑富士夫君

○本日のフォーラムご参加をお願い致します。
上條隆志君

○先週の全日空整備工場見学会、大勢の皆様に
ご参加頂きましてありがとうございました。
青木桂三君

○ANA 見学と横浜中華のコラボレーション、
良かったです。　佐野一信君

○お祝いを頂いて。　須田雅之君

小計￥41,000.-　累計￥739,000.-

2015年9月14日 例会報告

点　鐘

ロータリーソング	『手に手つないで』
ゲストスピーカー	1名
ゲスト及びビジター	0名
会員出席状況	50名中36名(出席率72.00%)
前々回訂正出席率	100%

- 来月10月の受付当番 -
田島君/中田君/奈良君/葉佐君/牧野君

次回の卓話

「　未　定　」

米山奨学生
バーサンドルジ ムンフザヤ さん

内容充実の為に、皆様からの投稿をお待ちしております！

東京城東ロータリークラブ
2015 - 2016 年度
第 1 回ホーム・ミーティング報告

◎リーダー、○サブリーダー（順不同・敬称略）

【第 6 班】

日　時　9 月 14 日（月）　18：00 ～

場　所　多じ万

参加者　佐野一信、齊藤榮一、田島敬三
　　篠田秀樹、◎重田敦史、○須田雅之

重田リーダーの司会、佐野会員のご挨拶及び乾杯にて会は始まりました。

故 伊東昇元会員の一周忌も過ぎ、50 年近くの間、チャーターメンバーとしてご活躍され、また、我々メンバーの支えとなっていただいた故人に対し感謝と共に、半ば急逝されたことに偲ぶお話しを参加者皆様のお声としていただきました。

また、昨今のロータリーの課題の一つでもあります「退会防止、会員増強」についてのお話しも、ロータリー歴の長い佐野会員や齊藤会員よりご意見をいただきました。

重田会員からはロータリークラブというものは、以前から一社会人としてはとても名誉なことであると聞いており、入会させて頂いたことに対し感謝の気持ちで一杯であるとのご意見もいただきました。

そんな参加者皆様の熱いお話しをいただき、また美味しいお酒と料理もいただき午後 8 時を回ってしまいましたが、最後に篠田 (秀) 会員の幹事としてのご挨拶、齊藤会員の中締めにて会は終了いたしました。

田島さん、ごちそうになりました。また、重田リーダーお疲れ様でした。

（須田会員　記）

▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽▼▽

ＲＩニュース：2015.8.25

▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△▲△

メキシコの村により良い教育の機会を

1989 年にメキシコの海岸の町、ナヤリットに引っ越したマリアナ・デイさん。その時に気が付いたのは、地域の学校がいずれも、運営に苦労していて、子どもたちは 8 年生（日本の教育制度の中学 2 年生）が終わると、ほとんどが進学をあきらめていたことでした。デイさんは、授業料、制服、文具、通学費などを提供する奨学金制度を立ち上げ、その後、ナヤリットにあるロータリークラブに入会しました。

ナヤリットではまた、米国とメキシコのロータリークラブが 2003 年以来、奨学金、図書室、校舎の修復を提供して、子どもたちの教育を支援しています。これらの支援は、地域に明らかに長期的な影響を与えています。「奨学金に加え、ロータリーが学校を支援することで、地域の教育環境と、教育に対する意識が向上した」と、デイさんは言います。

カロリナ・ゴンザレスさんはその恩恵を受けた人の一人です。デイさんが立ち上げた奨学金制度のおかげで高校に進学し、現在、修士課程に在籍しています。また、地元のロータリークラブへの入会も果たしました。「ロータリーがこのように地域で教育を支援し、生徒たちが人生に希望を持てるようにしていくことで、世界を変えられる と思います」。

ゴンザレスさんのクラブは、バークレー・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）やほかの北米のクラブとともに、2003 年以来、メキシコで複数の教育・識字プロジェクトに取り組んできました。これまでで最大のプロジェクトは、ラスベラスの村で実施された 1 カ月間の学校改修プロジェクトで、資金はグローバル補助金のほかに、6 地区の 25 のロータリークラブが資金を寄せ合って調達しました。学校の教員、生徒、保護者を含めた 90 人のボランティアが、コンピューター室、実習用キッチン、化学実験室を改修したほか、電子機器や機材を寄贈しました。これらの設備は地元の人びとも利用できるようになっています。

ゴンザレスさんのクラブ仲間であるエドワルド・ドミンゲズさんは、このプロジェクトの最大の影響は、地域の子どもたちが大学へ進学する可能性が広がったことだと述べます。「メキシコには大きな可能性を秘めた青少年がたくさんいます。彼らがその可能性を実現し、将来地域社会に貢献する機会を与えているのが、ロータリアンです」